

デジタル入稿ガイド

〈2019年度版〉

はじめに

弊社では、広告原稿のすべてをデジタル化いたしました。そのため、入稿された広告原稿をトラブルなく掲載できるよう、弊社の入稿規定に沿った正しい広告制作と、データの保存をお願いしております。

尚、「完全原稿での入稿」を原則とし、弊社での修正は行いませんので、ご注意ください。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

宮崎日日新聞社 業務局営業部編成課

■ デジタル入稿の方法

東京支社・大阪支社・福岡支社でも取り扱っております。

EPSファイル又はN-PDFファイル。EPSファイルの場合は一緒にPDFファイルも添付して下さい。

※最新の定義ファイルでウイルスチェックを行って下さい。

■ 対応ソフトウェアとファイル形式

ファイル形式【EPS】の場合

Illustrator 8.0、9.0、10.0、CS、CS2、CS3、CS4、CS5

Photoshop 6.0、7.0、CS、CS2、CS3

ファイル形式【N-PDF】の場合

Illustrator CS2 以上

Photoshop CS2 以上

※日本広告業協会の新聞広告デジタル制作ガイドに準じた制作をお願いします。

https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/

※事前にPDFを書き出すイラストレーターに、日本広告業協会のN-PDF2012に準拠した「Adobe PDF プリセット」を読み込み、設定しておく必要があります。

■ 原稿の総データ量

【EPSファイルの場合】

新聞1ページ(A1)サイズ=250MB以下を目安とします。

新聞見開き(A2)サイズ=350MB以下を目安とします。(例：全5段=90MB以下)

※これを超える場合は、写真の解像度を200dpi~300dpiに落として総データ量内で仕上げてください。

【N-PDFファイルの場合】400MB以下を目安とします。

原稿データ作成の留意点

1. データは Adobe Illustrator で制作し、EPS 及び N-PDF 保存したものに限りします。
2. 画像データは、
EPS の場合、Adobe Photoshop で制作されたファイルに限りします。
N-PDF の場合、Adobe Photoshop で制作された PSD、EPS、TIFF 形式のみとなります。
3. データにはトンボ、注釈、不要なオブジェクトなどは一切入れないで下さい。
データは広告原稿のみとして下さい。
4. 原稿に使用した文字はすべてアウトライン化して下さい。
5. QRコードは K 版一色で作成して下さい。
6. オーバープリントは使用しないで下さい。データ保存時にオーバープリントは【破棄】を選択して下さい。
7. スポットカラー(特色)は使用しないで下さい。
8. データは完全原稿で入稿して下さい。訂正、象眼(ぞうがん)はいたしません。修正が必要な場合は再入稿していただくことになります。
9. カラープロファイル(ICC プロファイル)は埋め込まないで下さい。
10. Photoshop で文字を画像にしたものはジャギーが出ますので、小さな文字は避けて下さい。
ロゴ・カット類は 1200dpi で取り込むことを推奨いたします。
11. N-PDF 原稿には必ず拡張子の前に N あるいは n を付けて下さい。
【例】20190701 宮崎日日新聞社 N.pdf
12. 確認用 PDF は違いが確実に分かるようなファイル名を付けて下さい。
【例】20190701 宮崎日日新聞社確認用.pdf

制作サイズ一覧(ミリ)

段数	天地	横	左右
15 段	513	通し	381
14 段	477	1/2	189
13 段	444	1/3	126
12 段	410	1/4	93
11 段	376	1/6	62.5
10 段	341	1/8	46.5
9 段	307		
8 段	272		
7 段	238		
6 段	204		
5 段	169		
4 段	135		
3 段	101		
2 段	66		
1 段	32		

	天地	左右
見開き	513	784
突出し	66	52.5
記事中(2段)	66	70
記事中(1段)	33	70
タブロイド	373	248

12 段組

	天地	左右
記事中(6×2)	83	60
記事中(6×1)	40	60
題字横(1 面)	40	60
題字横(地方面)	32	70

宮崎日日新聞社・掲載データ確認書 (2019年版)

掲載データ

ファイル名 .eps 本紙 別刷り きゅんと
※半角英数字 27 文字以内 (全角の日本語 13 文字以内) .pdf エリア その他 ()

広告主

制作者(社) 連絡先 — —

掲載日 年 月 日(曜日) 付

原稿サイズ 段 / 天地 × 左右 mm

色数 モノクロ原稿 カラー原稿

ファイル情報

アプリケーション Illustrator 10.0x 以前() CS1 CS2 CS3 CS4 CS5
バージョン【EPS】 Photoshop 7.0 以前() CS1 CS2 CS3 CS4

アプリケーション Illustrator CS2 以上
バージョン【N-PDF】 Photoshop CS2 以上

オーバープリント・スポットカラー 設定しない ※必須事項

その他 トラッピング 設定済み 設定しない

ハーフトーンスクリーン 新聞社の設定値を使用する

データチェック事項

- データは Adobe Illustrator で制作。EPS ファイル又は N-PDF ファイルのみ入稿可。
- 原稿総データ容量は EPS の場合 全15段サイズ 250MB 以下、全30段サイズ 350MB 以下。
原稿総データ容量は N-PDF の場合 400MB 以下。
- N-PDF の場合、データ圧縮は不可。
- ファイル名は半角英数字 27 文字以内(全角日本語 13 文字以内)で、【.eps】【.pdf】の拡張子がついていること。
外字は使用しない。
- オーバープリント機能は使用しない。
- ウイルスチェックを行い異常がないこと。
- カラー原稿の場合、画像、オブジェクト、フォントなどは全てカラーモードを CMYK で設定。
モノクロ原稿の場合はグレースケールで設定。写真は必ずグレースケールにして使用。(CMYK は不可)
- カラー写真について RGB、JPG での使用は不可です。フォトショップ EPS にして使用して下さい。また、カラープロファイルは使用しないで下さい。
- スポットカラー(特色)を使用しないこと。
- 全てのフォントをアウトライン化またはラスターライズして原稿内に埋め込む。
- 罫線の太さは 0.3 ポイント(0.1 ミリ)以上を使用。
- 原稿はアウトライン化したフォントや画像・イラスト等全てをグループ化し、原稿サイズのクリッピングパスでマスク処理をしてロックする。
- 画像データの解像度は 200~300dpi、EPS 形式(画像を含む)で保存。(EPS の場合)
- 保存の際、使用イラストレーターと同バージョンを選択。バージョン 15 までの対応となります。(EPS の場合)
- マスク処理の領域を原稿サイズ内に配置。
- 原稿データのみを保存し、孤立点やガイドライン、トンボ、掲載日など不要なデータは除去。
- 画像データは埋め込み処理をする。
- PostScript プリンターによる原寸出力見本をデータと一緒に添付し、確認済みであること。
- 総インク量 UCR は 265%以内(C75%、M65%、Y65%、K60%)。
- メディアに必要事項(掲載日、広告主 or 件名、サイズ、代理店名)を記入した掲載データ確認書を添付すること。
- QRコードは K 版一色で作成して下さい。
- カラープロファイル(ICC プロファイル)は埋め込まないで下さい。
- パスの複雑なものはラスターライズ等をして下さい。出力データがエラーになる場合があります。
- N-PDF の場合、送稿前にプリフライトチェックを行って下さい。

※注意：弊社のシステム等の変更により、データ仕様を変更する事があります。この確認書は必ずしも正常処理を保証するものではありません。

■オーバープリントの使用厳禁

オーバープリントが設定されていると、文字が欠落したり、意図しない色再現になるなど重大な掲載事故につながる危険性があります。データ保存時にはオーバープリントは【破棄】を選択して下さい。

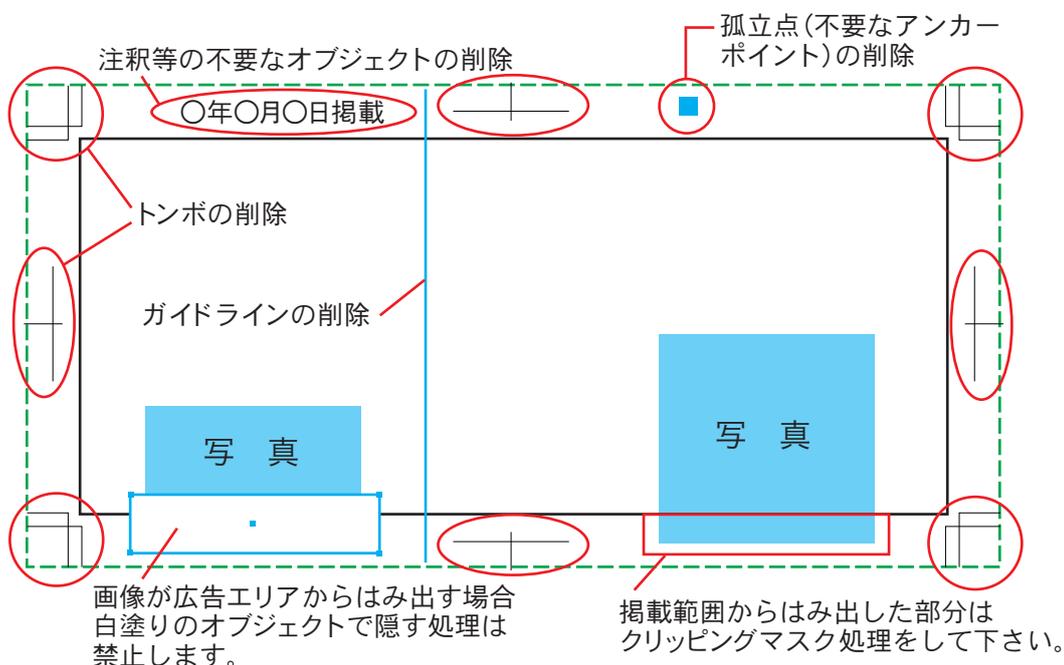
■特色の使用厳禁

パターンスウォッチは使用しないで下さい。出力時にトラブルの原因となります。

■不必要なオブジェクトについて

不必要なオブジェクトが存在すると、新聞広告処理システムでその領域(緑の破線部分)までを原稿サイズと認識してしまい、入稿サイズが変わってしまいます。不要なオブジェクトは必ず削除して下さい。

不要なオブジェクトを削除する場合は、グループ化した広告原稿全体を広告原稿サイズのクリッピングパスでマスクすることをおすすめいたします。



■入稿締め切り日時

掲載日2日前の正午まで

■使用フォントのサイズについて

文字サイズは原則として6pt以上とし、文字を全てアウトライン化して下さい。尚、細明朝体は横線がかすれやすく、太ゴシック体はつぶれやすいので、ご注意下さい。(▼下記見本参照)

宮崎日日新聞社 平成明朝体 W3 6pt
宮崎日日新聞社 平成明朝体 W3 7pt
宮崎日日新聞社 平成明朝体 W3 8pt
宮崎日日新聞社 平成明朝体 W3 9pt
宮崎日日新聞社 平成明朝体 W3 10pt

宮崎日日新聞社 平成ゴシック体 W7 6pt
宮崎日日新聞社 平成ゴシック体 W7 7pt
宮崎日日新聞社 平成ゴシック体 W7 8pt
宮崎日日新聞社 平成ゴシック体 W7 9pt
宮崎日日新聞社 平成ゴシック体 W7 10pt

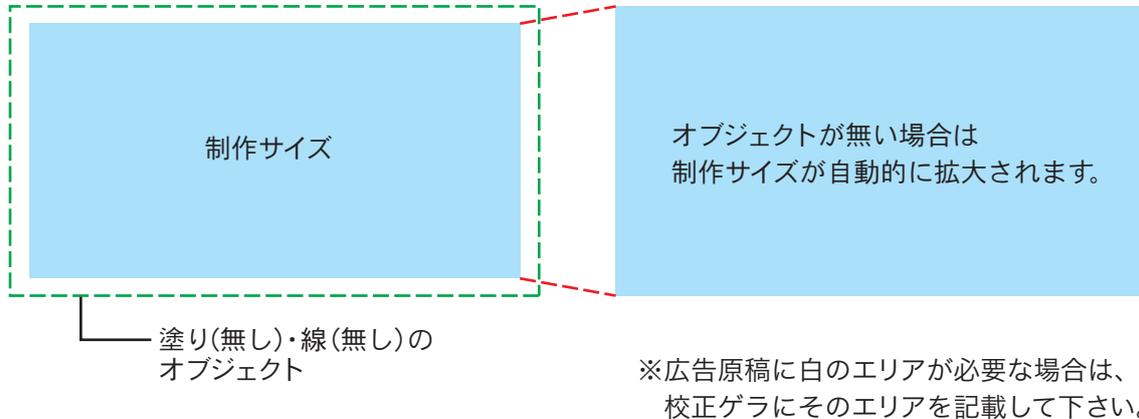
■罫線のサイズについて

罫線の太さは0.3pt(0.1ミリ)以上を使用して下さい。

■広告罫の無い広告

空白を生かした、広告罫を巻かない広告を制作する場合は、広告サイズを塗り(無し)・線(無し)のオブジェクトをバックに配置して下さい。

広告サイズ



■レイヤーの統合

複数の「レイヤー」を使用している場合は、全てを統合して下さい。統合していないと、出力時にトラブルの原因となります。

■カラー広告

CMYKのみで作成して下さい。レイアウトの各オブジェクトに対し「カスタムカラー」「スポットカラー」「RGBカラー」等がレイアウトデータ内に存在しないことを確認して下さい。

■モノクロ広告

墨1色で作成して下さい。モノクロデータに対して、カラーオブジェクトおよびCMYKのK色のみは使用できません。全てグレースケールのみとします。

■広告データの保存【EPS】形式の場合

制作された広告の保存は、その時使用したイラストレーターのバージョンで保存して下さい。下位バージョンでの保存を行うと、まれに一部機能が損なわれることがあり、新聞広告処理システム展開時のエラーとなります。

尚、データ保存時のフォーマット形式は、必ず【EPS】でお願いします。

※フォルダー名・ファイル名は全角で13文字以内で付けて下さい。機種依存文字は使用できません。

※注意＝フォルダー名・ファイル名に下記の文字を使用しないで下さい。弊社システムが誤作動を起こす原因となります。

_(アンダーバー)、*(アスタリスク)、/(スラッシュ)、\ (バックスラッシュ)、¥(円マーク)、:(コロン)、;(セミコロン)、?(クエスチョン)、<>(小なり大なり)、| (縦棒)、+(プラス) ファイル名に、.(ドット)の多用禁止【ファイル拡張子のみで使用】。これらの文字があるとシステムトラブルが発生し取り込めない場合があります。

■写真処理

写真解像度 200~300dpi

線画のロゴ等 1200dpi

	ハイライト	シャドウ
モノクロ写真	3%	98%
カラー写真 C	2%	75%
M	1%	65%
Y	1%	65%
K	中間域から 1%	60%

(スクリーン線数は、モノクロ「175 線」・カラー「210 線」で処理します)

■写真処理の取り込み

Illustrator に配置する写真は、不必要にデータを重くしないためにも、実際に使用する範囲外の部分を Photoshop でトリミングして使用したり、高縮小率にならないように、なるべく使用サイズ近くでの取り込みをおすすめします。

■写真の保存【EPS】形式の場合

使用するデータの保存形式は【EPS】形式で保存し、「カラープロファイルの埋め込み」にはチェックをいれないで下さい。

■写真の品質

ドットゲイン

新聞用輪転機印刷の場合、印刷時にドットゲイン(網太り)が発生します。弊社のドットゲインは各色 25%程度あります。したがってカラー・モノクロとも写真の階調を少し明るめに仕上げることをおすすめします。

UCR

カラー写真の場合、UCR 量(C=75%、M=65%、Y=65%、K=60%)の総量 265%以下で処理して下さい。

※UCR とは、下色(したいろ)除去といい、カラー印刷は CMYの3 原色に K(墨)を使用してカラー再現を行います。CMY3色の重なりからなるグレー成分を減らして K(墨)成分に置き換えることを言います。

Illustrator データ制作の注意点 1

■書類モード (Illustrator CS)

新規書類を開く時に、カラーモードをCMYKに設定して下さい。RGBで作業した場合、新聞広告処理システムでの処理時に単色クロベタがCMYKに分版されたり、取り込まれた写真の色再現に支障をきたします。

【CMYK】に設定
ラスターライズ効果
【高解像度 300ppi】に設定



■書類モード (Illustrator 10)

新規書類を開く時に、カラーモードをCMYKにチェックを入れて下さい。

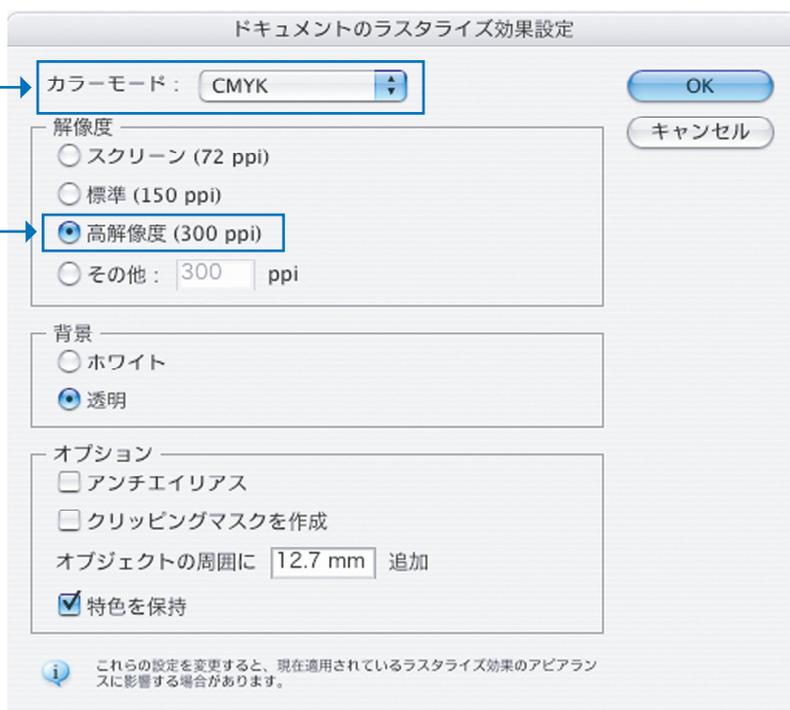


■ラスターライズ効果設定 (Illustrator 10)

【ドキュメントのラスターライズ効果設定】の解像度を適切な値にして下さい。

カラーモードは【CMYK】または【グレースケール】を個別に設定して下さい。

「ラスターライズ効果設定」の解像度は高解像度 (300ppi) またはその他で (200ppi) に設定して下さい。



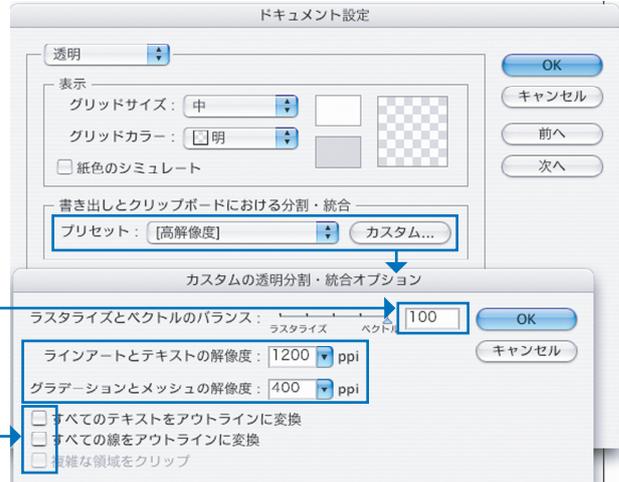
Illustrator データ制作の注意点 2

- ラインアートテキストの解像度 (Illustrator CS)
- グラデーションメッシュ解像度 (Illustrator CS)
- ラスタライズ/ベクトル比率 (Illustrator 10)

「書き出しとクリップボードにおける分割・統合」は【高解像度】を選択して下さい。
「カスタム」ボタンをクリックしてオプションダイアログで設定を確認して下さい。

「ラスタライズとベクトルのバランス」は【100】に設定して下さい。

全てのチェックを外して下さい。



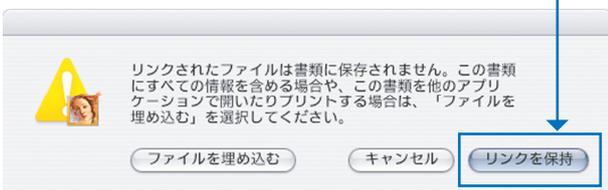
■配置された画像の埋め込み (Illustrator)

画像を配置する時に「リンク」のチェックを外して下さい。

ポストスクリプトは「レベル」を「3」にして下さい。

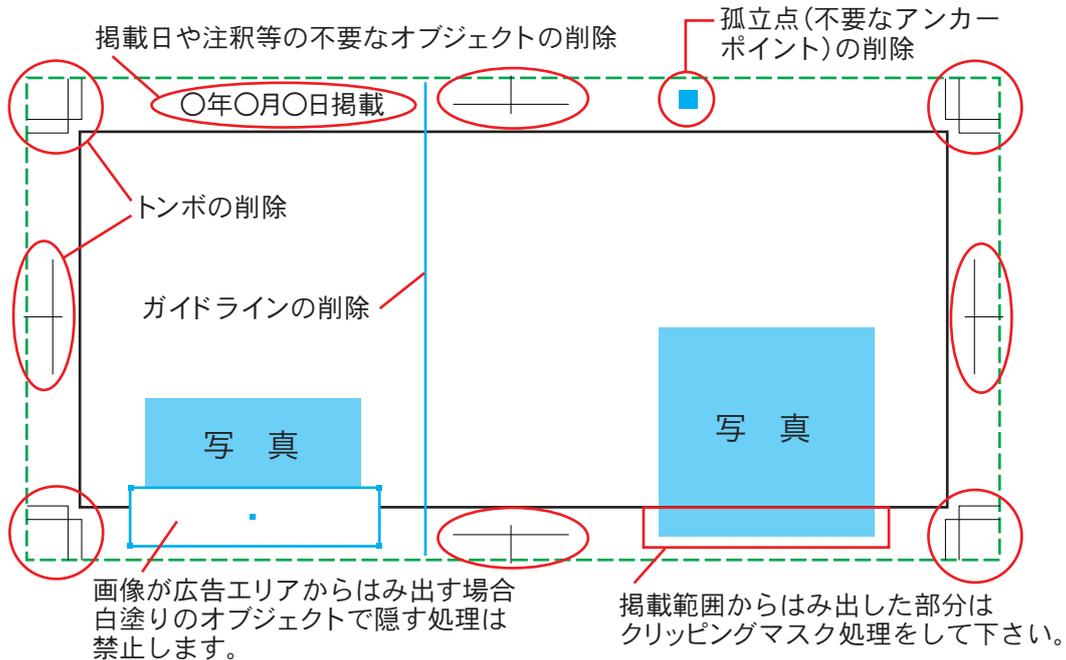
もしくは、ファイル保存時に「配置した画像を含む」にチェックを入れて下さい。

データ量が 300MB 以上に重くなって画像で保存する場合 (リンク画像で保存) は、同一フォルダー内の同一階層にファイルと画像を保存して下さい。



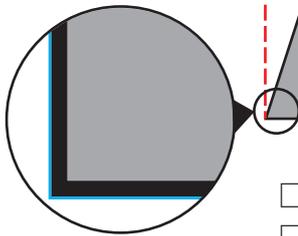
■ 広告データの仕上げ方について

不必要なオブジェクトが存在すると、新聞広告処理システムでその領域(緑の破線部分)までを原稿サイズと認識してしまい、入稿サイズが変わってしまいます。不要なオブジェクトは必ず削除して下さい。



マスクエリア

GOOD

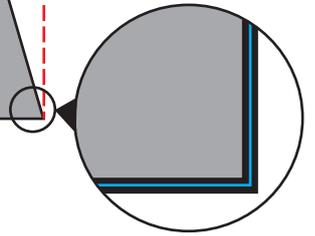


- 上記の注意事項を確認する。
- 文字を全てアウトライン化する。
- 孤立点を全て削除する。
- 写真を埋め込む。
- 広告全体をグループ化する。
- 広告サイズでクリッピングマスク処理をする。

この際、周囲の罫をマスクしないよう気を付ける。
以上でデータが完全に仕上がります。

なお、全体を罫で囲んだ広告の場合は、囲み罫はイラストの【線の位置設定】を中央にある【矩形の内側】にし、仕上がりが広告サイズになるよう制作して下さい。

NG



イラストの【線の位置設定】が【矩形の中心】や【矩形の外側】に設定してあると、クリッピングマスク処理後に罫幅が半分になったり、罫が表示されなくなりますので、ご注意下さい。